

## 第43回 教育課程小委員会議事録

### 1 日時・場所

2013年2月17日(日) 10:50-16:30 学会センタービル会議室

### 2 参加者

矢島、根本、畠山、宮嶋、山下、南島、川村、阿部(オブザーバー)

### 3 前回議事録の確認

議事録案の通りに承認された。

### 4 中教審・理数系学会・他研究団体等の情勢報告

○中教審(学習指導要領改訂に関連する動き)

・特になし

○理数系学会・他研究団体等

・2/1に学術会議主催の「自然災害国際ネットワークの構築に向けて—固体地球科学と市民との対話—」が行われ、本委員会からも数人の委員が参加したことが報告された。

・学術会議数理科学委員会より、大学の数学教育に関するアンケートへの回答が依頼され、大学教育小委員会にて対応することが確認された。

・鉱物科学会が制作を進めている「一家に一枚 鉱物」の進捗状況について、最終修正直前のレイアウト案の概要が報告された。

○教育問題検討委員会関連の報告事項

・連合大会のアウトリーチを除く教育セッションの投稿数がやや少ない状況であることが報告された。

○その他

・JSECの最終選考結果について、地学系からは2作品が選ばれたことが報告された。

・平成25年度の高校理科の教科書採択数について資料の提示があり、地学基礎が昨年の2.8倍の採択数になったことが報告された。

### 5 協議

(1) 12/2の学習会のレビューについて

12/2の学習会資料を改めて確認し、学習指導要領改訂の工程について確認した。また、JpGUの提言の今回の学習指導要領改訂への適時性について検討した。それによると、2005年7月の「教養理科」の提言は適時性があったが、それ以降の提言は、必ずしも適時性に叶ったものではなかったことが確認された。

(2) 学習会で明らかになった課題の確認について

JGL 2013. No. 1の記事に挙げられた5つの課題について確認した。

(3) 今後の活動の方向性・内容について

今後、早急に取り組むべき課題について、以下の3点を確認した。

- ・文科省との定期的な情報交換の場を設けること
- ・次々期の学習指導要領改訂にて、高校理科の科目設定について議論を始めること
- ・「地学基礎」の教育実践を支援する取り組みを行うこと

### 6 その他

(1) 連合大会での教育問題検討委員会シンポジウムについて

次々期の学習指導要領での高校理科の科目設定についてをテーマに企画することを決定した。

(2) 次回小委員会について

3月下旬から4月中旬を目途に、メールにて日程調整を行うことを確認した。